

水戸市協働事業提案制度 わくわくプロジェクト

令和7年度実施事業紹介

市が抱えている課題の解決やより良いまちづくりへ向けて、市民活動団体とのパートナーシップを生かし、市と協働で取り組むことによって相乗効果が期待できるモデル的・先駆的な内容の事業提案を募集し、まちづくりに活用しています。令和7年度は以下の7つの協働事業を実施しています。

ドライバーサポートフィットネス「ドラサポ」 特定非営利活動法人ちいきの学校 高齢福祉課 高齢者の運転の不安を解消するため、車の運転に必要な運動機能や認知機能の維持向上を目的とした講習会を実施します。  ドラさぽ	空き家に関する ワンストップ総合相談窓口事業 特定非営利活動法人ふるさと空き家相談・サポート 生活安全課 総合相談窓口の設置に加え、空き家関連のセミナー、個別相談会の開催により、空き家所有者の負担軽減を目指します。 	しもいち実証実験教室（ためしもいち） さととし 都市計画課 下市エリアを舞台に、空き家など地域の資源を活用し、自分のアイデアをためしにやってみる約半年間のプロジェクトを実施します。  ためしもいち!
若い世代で戦争の紙芝居を伝承しよう ～デジタル化による新たな紙芝居を創る～ 一般社団法人オリブ協会 文化交流課 児童・生徒に戦争の紙芝居のデジタル化の一端を担ってもらうことで、平和への意識醸成、次世代へ語り継いでもらうことを目指します。 	地域と動物の共生プロジェクト いばらきのシッポの幸せの会 動物愛護センター 動物愛護に関する正しい情報を地域に普及させることによって、動物と人間の双方が暮らしやすいまちづくりを目指します。  いばらきのシッポの幸せの会	次世代継承店舗と学生がつくるまちづくり ～起業ゲームから実践へ～ 23RD まちづくり株式会社 商工課 水戸のロマンチックゾーン周辺において、大学生を対象に地域と連携した創業体験ができるワークショップを開催します。 
水戸市協働事業提案制度 わくわくプロジェクト	参考書バンク 茨城高等学校国際教養コース・これミラ班 ごみ減量課 受験や試験後に学生によって廃棄されてしまう参考書の数減らすため、参考書を中心としたリユース事業を実施します。 	※ 各事業の詳しい内容は、以下のQRコードから水戸市市民活動情報サイト「こみっと広場」をご覧ください！！ 

※ わくわくプロジェクトの概要は、裏面をご覧ください。

皆さんのアイデアを募集しています！！

みんながわくわくするようなアイデアで
水戸をもっと元気なまちにしませんか。
皆さんからのご提案をお待ちしています。
応募の前のご相談も大歓迎です。お気軽にご相談ください！

水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」の概要

☆対象事業☆

市と協働して取り組むことによって相乗効果が期待できるモデル的・先駆的な内容のプロジェクトが対象です。

☆対象団体☆

NPO法人、ボランティア団体、サークル、企業（ただし、非営利の社会貢献活動を行う場合）、地域コミュニティ団体など、市民活動を行う団体です。

☆市からの補助金額について☆

提案1件あたり対象経費の90パーセント以内(上限50万円)です。

※ 学生主体の団体であれば、補助金上限額（50万円）の中で、全額補助金での事業実施も可能です。詳細については、下記問合せ先までお問い合わせください。

☆事業の流れ☆

- 随 時 ： 提案事業についての事前協議
- 11月ごろ：提案事業の募集開始
事業の検討（提案団体と担当課で具体的な検討を進めます）
- 1月中旬：提案事業の募集締切
- 2月下旬：公開プレゼンテーションによる審査（市民、関係団体の代表者、学識経験者等で構成する水戸市協働推進委員会が提案事業を厳正に審査します）
- 4月ごろ：協定の締結（提案団体と事業担当課の間で、基本的な合意事項について協定を結びます）
- 4月～翌年3月：事業実施期間（計画に基づいて事業を実施します）
- 事業実施後：事業報告書、評価シートの作成・提出（提案団体と事業担当課で事業の成果を振り返り、それぞれの評価シートを作成します）
- 翌年5月ごろ：事業報告会（事業の成果を公の場で発表します）

☆問合せ先☆

〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号
水戸市 市民協働部 市民生活課 協働係
電話：029-232-9151
Email：kyodo@city.mito.lg.jp